

一般質問 「本市の伝統工芸品について」

【質問者:議員14 議員】

本市の^{でんとうこうげいひん}伝統工芸品について質問します。

本市には、5つの^{でんとうこうげいひん}伝統工芸品があります。岐阜^{わがさ}ちょうちん、岐阜和傘、岐阜の^{ごい}うちわ、^{みの}のぼり^{つつび}鯉、^{ほんぞ}美濃筒引き本染め・^{てず}手刷り^{なっせん}捺染の5つですが、国から^{してい}指定された^{でんとうてきこうげいひん}伝統的工芸品は岐阜ちょうちんだけであり、そのほかは、岐阜県から^{きょうどこうげいひん}指定された郷土工芸品となっております。いずれにいたしましても、5つの^{でんとうてきこうげいひん}伝統工芸品は、清流長良川に^{はぐく}育まれた歴史ある、そして、本市が^{ほこ}誇る^{でんとうてきこうげいひん}伝統工芸品です。

【質問者:議員15 議員】

その^{でんとうてきこうげいひん}伝統的工芸品ですが、^{いっばんざいだんほうじん}一般財団法人^{でんとうてきこうげいひん}伝統的工芸品^{さんぎょうしんこうきょうかい}産業振興協会
のデータによりますと、1984年に生産額のピークを迎え、その後、^{ほうかい}バブル崩壊とともに^{がく}生産額は年々減少し、現在は^じピーク時の5分の1にまで落ち込んでいるそうです。

また、同時に耳にするのは、^{しよくにん}職人の^{こうれいか}高齢化、^{こうけいしゃもんだい}後継者問題、^{せいさん}生産規模^{きぼ}
^{しゆくしょう}縮小による^{さんぎょうきばん}産業基盤^{ほうかい}の崩壊などです。

そこで、岐阜市の^{でんとうてきこうげいひん}伝統工芸品を守るため、^{ぎょうせい}行政としてこれまで以上にバックアップする必要があるのではないかと考えまして、以下大きく2点、^{しょうこうかんこうぶちょう}商工観光部長に質問します。

【質問者:議員16

議員】

1点目、本市が誇る^{ほこ}伝統工芸品における^{でんとうさんぎょう}伝統産業の現状をどのように理解し、また、それぞれの課題や問題に対して、どのような^{にんしき}認識を持ってみえるのかお答えください。

2点目、^{はんろかくだい}販路拡大について質問をさせていただきます。事業を継続していくには、当然売り上げが必要になります。現在、市内においては、^{じゅうらい}従来の事業所での販売だけでなく、^{みなとまち}湊町の^{わがさ}長良川デパートや和傘^{せんもんてん}専門店の^カCASA^ーさんで^さ岐阜の^{こうにゆう}伝統工芸品を購入することができます。また、^{かんこうあんないじょ}岐阜市観光案内所でも、観光客からの問合せには、事業所とともに^カ長良川デパートやCASA^ーを紹介されているそうです。

そこで、岐阜の^{はんろかくだい}伝統工芸品のさらなる販路拡大に対して、どのように考えてみえるかお聞かせください。

【答弁】 商工観光部長

【答弁者： 商工観光部長5】

でんとうこうげいひん じゅんじ
伝統工芸品に関する質問に順次お答えいたします。

はじめに、でんとうこうげいひん かかわ でんとうさんぎょう げんじょう かだい
初めに、伝統工芸品に係る伝統産業の現状と課題についてであります。

でんとうこうげいひんさんぎょう せいかつようしき おうべいか しゅうごうじゅうたく ぞうか
伝統工芸品産業は、生活様式の欧米化や集合住宅の増加など、
ライフスタイルの変化、てんねんげんざいりょう げんじょう よういん すいたい
天然原材料の減少など、様々な要因により衰退
けいこう にんしき
傾向にあると認識しております。

このような現状をだかい ぎほうとう
打開するには、伝統的な技法等は守りつつ、現代の
たよう しょうひしゃ そく どくじ はんろかいたく
多様な消費者ニーズに即した独自の工芸品づくりや販路開拓の必要があ
ると考えております。

本市では、パンフレットの作成やかんこうぶつさんてんなど てんじ
観光物産展等での展示に加え、伝統
工芸品のふきゅう はんろかいたく
普及や販路開拓のため、事業者が大規模見本市へしゅってん さい
出展する際に
じよせい しえん
助成するなどの支援を行っております。

【答弁者： 商工観光部長6】

平成28年からは、本市の伝統工芸品5品目にたずさ じぎょうしゃ いちどう
携わる事業者が一堂
に集まり、さまざま課題などを話し合う場をもう
設けており、それぞれが
きたん か かきね こ れんけい はか
忌憚のない意見を交わすことで、事業者間の垣根を超えた連携を図った

結果、昨年度には、これらの工芸品の魅力と価値を伝える歴史博物館
特別展「長良川が育む 竹の造形 和紙の彩」の開催が実現しました。

今後も事業者同士が話し合い、助け合える協力関係が継続していくこ
とを期待し、側面支援に努めてまいります。

【答弁者： 商工観光部長7】

伝統工芸品は生活様式の変化や人の趣味趣向に左右されますが、その
変化に対応してきたからこそ、今日でも現存しているものと考えており
ます。

他産地では、和傘の技術を生かしたランプシェードなどの新商品を生
み出し、新たな販路を開拓した事業者もあります。

このように、新商品などを開発する事業者を支援するべく「岐阜市事業
創造支援補助金制度」を設けているところです。伝統工芸品は長い歴史・
風土の中で培われた地域の宝でもあることから、本市といたしましても、
関係者と連携を密にし、伝統産業が持続可能なものとなるよう、引き続
き支援していきます。